

石川工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	建築設計ⅠⅡⅢ	
科目基礎情報							
科目番号	18370			科目区分	専門 / 必修		
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位: 6		
開設学科	建築学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	6		
教科書/教材	【教材等】関連プリントを配布する。 / 【参考書】日本建築学会「コンパクト設計資料集成」丸善, 日本建築学会「構造用教材」丸善, 【図解】建築の構造と構法 井上書院						
担当教員	熊澤 栄二,村田 一也,林野 紀子						
到達目標							
(前期)							
1. 駐車場, 外部動線計画を含めた外構計画ができる。							
2. 敷地のありようを理解し, 施設配置計画ができる。							
3. 利用者の属性を理解し, 動線計画ができる							
4. R Cラーメン構造の基本を理解し計画内容に反映させることができる。							
5. 建物の機能に即したヴォリューム構成ができる。							
6. ヴォリュームの関係を重視し, 立面・断面が計画できる。							
(後期)							
7. 敷地現状や周辺環境を分析し, 計画内容に反映させることができる。							
8. 公共性を理解し, 計画内容に反映させることができる。							
9. 様々な利用形態を理解し動線計画に反映させることができる。							
10. CADを利用し, 線種を使い分けた図面表現が出来る。							
11. 提案内容を図面や図表を用いてプレゼンテーションすることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標 項目1, 2, 7	敷地周辺環境に対して地域の特性を踏まえて独自の設計計画ができる。			敷地周辺環境に対して少なくとも計画学的な配慮を満たした設計計画ができる。		敷地周辺環境に対して計画ができない。	
到達目標 項目3, 8, 9	公共施設としての特性を踏まえて独自の設計計画ができる。			公共施設として少なくとも計画学的な配慮を満たした設計計画ができる。		公共施設として計画ができない。	
到達目標 項目4, 5, 6	建築物として適切なボリューム計画・構造計画ができる。			建築物として少なくとも成立する計画ができる。		建築物として計画ができない。	
到達目標 項目9, 10	明快なコンセプトで提案内容が分かりやすくプレゼンテーションを構成することができる。			少なくともコンセプトを説明し, 提案内容が理解できるプレゼンを構成することができる。		コンセプトおよび提案内容を表現するプレゼンテーションを構成することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
本科教育目標 1 本科教育目標 2 本科教育目標 3 本科教育目標 4							
教育方法等							
概要	建築設計Ⅲは, 建築設計Ⅰ, Ⅱでの学習過程を踏まえ, より実践的な設計課題に取り組むため, 実在する敷地において建築法規・設備計画・構造計画の基本を踏まえ, 前期は地域に密着した公共施設に取り組み, 後期はR C造で公共性のある施設(小規模)の設計に取り組む。 与えられた実在する敷地において地域社会と周辺環境に配慮しながら, 各自が独創的な建築空間を提案し, 図面や模型を用いて自分の考えて正しく表現するとともに, 公正に意見を交換する能力を身につける。						
授業の進め方・方法	【事前事後学習など】関連専門雑誌などに掲載された作品の提案内容や設計工夫に関するレポートを出題する。到達目標の達成度を確認するため, 各自のエスキスノートを準備すること。 【関連科目】建築計画学関連科目, 建築構造関連科目, 建築環境工学関連科目, 建築CAD基礎, 建築CAD応用						
注意点	最終提出の図面や模型だけでなく, 演習時のエスキスチェックの過程が大切です。スケジュールを厳守し, エスキス・チェックをしっかり受けること。エスキスをする際に, スタディ模型をつくって立体を確認することは重要です。 綿密なスケジュール管理とその実行がポイントとなります。 【評価方法・評価基準】学年末成績は前期課題(50%), 後期課題(50%)とし, 以下の割合で評価する。 演習課題の到達度(70%), 取り組み姿勢(提出物)(20%), プレゼンテーション(10%) 成績の評価基準として50点以上を合格とする。						
テスト							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス1(課題説明および周辺環境の把握)			公共性ならびに公共施設の概要を説明することができる。対象となる敷地の特性について分析し、特徴を説明することができる。	
		2週	ガイダンス2(公共施設の特性理解と地域における役割)			公共性ならびに公共施設の概要を説明することができる。対象となる敷地の特性について分析し、特徴を説明することができる。	
		3週	エスキス1(配置計画と動線計画の把握)			駐車場, 外部動線計画を含めた外構計画ができる。敷地のありようを理解し, 施設配置計画ができる。利用者の属性を理解し, 動線計画ができる。	
		4週	エスキス2(機能計画とヴォリュームの検討)			R Cラーメン構造の基本を理解し計画内容に反映させることができる。建物の機能に即したヴォリューム構成ができる。ヴォリュームの関係を重視し, 立面・断面が計画できる。	
		5週	エスキス3(平面, 立面, 断面, 模型スタディ)			R Cラーメン構造の基本を理解し計画内容に反映させることができる。建物の機能に即したヴォリューム構成ができる。ヴォリュームの関係を重視し, 立面・断面が計画できる。	
		6週	エスキス4(平面, 立面, 断面, 模型スタディ)			R Cラーメン構造の基本を理解し計画内容に反映させることができる。建物の機能に即したヴォリューム構成ができる。ヴォリュームの関係を重視し, 立面・断面が計画できる。	

後期		7週	中間提出	提案内容を図面や図表を用いてプレゼンテーションすることが出来る。
		8週	設計基本図面の作成 1（平面図，立面図，断面図）	CADを利用し，線種を使い分けた図面表現が出来る。
	2ndQ	9週	設計基本図面の作成 2（平面図，立面図，断面図）	CADを利用し，線種を使い分けた図面表現が出来る。
		10週	設計基本図面のチェック（平面図，立面図，断面図）	CADを利用し，線種を使い分けた図面表現が出来る。
		11週	プレゼン準備 1（模型，図面作成，コンセプトシート）	提案内容を図面や図表を用いてプレゼンテーションすることが出来る。
		12週	プレゼン準備 2（模型，図面作成，コンセプトシート）	提案内容を図面や図表を用いてプレゼンテーションすることが出来る。
		13週	プレゼン 1	提案内容を図面や図表を用いてプレゼンテーションすることが出来る。
		14週	プレゼン 2	提案内容を図面や図表を用いてプレゼンテーションすることが出来る。
		15週	前期復習	公共建築計画における基礎知識を理解し、説明できる。
		16週		
	3rdQ	1週	ガイダンス（課題説明及び周辺環境の説明）	公共性ならびに公共施設の概要を説明することができる。対象となる敷地の特性について分析し、特徴を説明することができる。
		2週	敷地現状及びプログラムの分析およびエスキス1	公共性ならびに公共施設の概要を説明することができる。対象となる敷地の特性について分析し、特徴を説明することができる。
		3週	敷地現状及びプログラムの分析およびエスキス2	公共性ならびに公共施設の概要を説明することができる。対象となる敷地の特性について分析し、特徴を説明することができる。
		4週	エスキス 3	公共性を理解し，計画内容に反映させることが出来る。様々な利用形態を理解し動線計画に反映させることが出来る。
		5週	エスキス 4	公共性を理解し，計画内容に反映させることが出来る。様々な利用形態を理解し動線計画に反映させることが出来る。
		6週	エスキス 5	公共性を理解し，計画内容に反映させることが出来る。様々な利用形態を理解し動線計画に反映させることが出来る。
		7週	設計基本図面の作成 1	提案する建物の建築構造を計画内容に反映させることが出来る。建物の機能に即したヴォリューム構成ができる。ヴォリュームの関係を重視し，立面・断面が計画できる。
		8週	設計基本図面の作成 2	提案する建物の建築構造を計画内容に反映させることが出来る。建物の機能に即したヴォリューム構成ができる。ヴォリュームの関係を重視し，立面・断面が計画できる。
	4thQ	9週	設計基本図面の作成 3	提案する建物の建築構造を計画内容に反映させることが出来る。建物の機能に即したヴォリューム構成ができる。ヴォリュームの関係を重視し，立面・断面が計画できる。
		10週	発表	提案内容を図面や図表を用いてプレゼンテーションすることが出来る。
		11週	図面の修正 1 およびプレゼンテーション作成 1	CADを利用し，線種を使い分けた図面表現が出来る。
		12週	図面の修正 1 およびプレゼンテーション作成 2	CADを利用し，線種を使い分けた図面表現が出来る。
		13週	発表及び講評 1	提案内容を図面や図表を用いてプレゼンテーションすることが出来る。
		14週	発表及び講評 2	提案内容を図面や図表を用いてプレゼンテーションすることが出来る。
		15週	後期復習	公共建築計画における基礎知識を理解し、説明できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	10	0	0	70	20	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	10	0	0	70	20	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0